

全海運 平成 22 年度会員組合事務局長会議を開催

3月4日、東京・海運倶楽部で

全海運は3月4日(金)12時より、東京都・日本海運倶楽部において平成22年度会員組合(18組合)の事務局長会議を開催した。

当日は、小比加会長より「当面する内航海運の現状と課題」の講演に続き、「国交省・内航海運代替建造対策検討会の審議状況」及び「内航海運暫定措置事業の現状と今後のあり方」等について報告した。

続いて、意見交換と質疑応答に入ったが、組合の求心力に即した暫定措置事業のあり方、カボタージュ制度への対応、過剰船対策の実施方等々現在の厳しい状況を踏まえての発言に終始した。

この後、出席された会員組合事務局責任者より各地の現状報告があったが、特に組合員の減少により組合運営に苦慮している発言が多数であった。15時40分終了。



写真左から中島事務局長代理、小比加会長、高木専務理事、荒木事務局次長



全国から参集した会員組合の事務局長